

大野城市公共サービスDOCK事業（第8回）会議録

- 日 時 平成21年5月21日(木) 午後2時～
- 場 所 大野城市役所本館4階 全員協議会室
- 出席者 委 員： 4名 明石委員長、佐々木副委員長、岩永委員、松本委員
事務局： 9名 藤田企画政策部長、堀自治経営課長、毛利企画調整係長、
松本評価改善係長、中村財政係長、白水、山崎、原、橋元

1. 開 会（あいさつ）

○明石委員長

- ・ 委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。
- ・ 今世間では、新型インフルエンザの話で持ちきりですが、先日私の大学でも新型インフルエンザの疑いがある生徒が出てまいりました。生徒に感染者が発生すると、講義を7日間休講しなければなりません。現在大学は、文部科学省から15回の講義の開催を義務付けられており、それが評価対象となっていることから大変心配しましたが、検査の結果陰性であることが分かり安堵したところです。
- ・ また先日神戸に行ってきましたが、繁華街から人が消えていました。政府は空港等での水際対策に追われている様ですが、これだけ感染者が世界的に広がっていく現状をみると、「現代社会のグローバル化が進んでいるなあ。」と実感いたしました。
- ・ 大野城市では公共サービスの改革について、先進的な取り組みをなされていますが、我々地域社会を取り巻く環境は厳しさを増し、市民の行政に対する期待もますます増大しています。
- ・ 公共サービス改革委員会では、より良い公共サービスを市民的に提供する枠組みの提案ができればと考えておりますので、委員の皆様のご協力をお願いいたします。

2. 委員会の進行について

○堀自治経営課長

- ・ それでは、本日の委員会の進行について説明いたします。
- ・ まず、各診断の年度スケジュールをそれぞれの担当より説明いたします
- ・ 説明ですが、フルコスト計算書診断、民間活用のあり方診断、業務・システム最適化診断、初期診断の順に説明いたします。
- ・ 次に、本年4月に策定いたしました第五次総合計画の概要について、毛利企画調整係長より説明いたします。
- ・ 最後に、今年度の委員会のスケジュール等々について、事務局より提案させていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

3. フルコスト計算書診断について

○橋元評価改善担当

- ・ それでは、フルコスト計算書診断についてご説明いたします。
- ・ 今年度は、平成21年度から23年度の3ヵ年で計画しておりますフルコスト計算書診断2巡目の第2年度として、115事業の診断を予定しております。
- ・ 今年度のタイムスケジュールとしましては、6月に所管課によるフルコスト計算書の作成、7月にフルコスト計算書診断ヒアリング、10月に診断結果のとりまとめを予定しております。
- ・ フルコスト計算書の作成は、今まで出納閉鎖前の5月に作成していましたが、今年度より財務会計システムの決算データを利用することができる様になりましたので、出納閉鎖実施後の6月に変更しております。
- ・ フルコスト計算書のヒアリングにつきましては、7月6日に事前研修会、7月7日から21日で所管課ヒアリングを予定しております。
- ・ ヒアリング終了後は、委員の皆様の意見を事務局でとりまとめ、主任診断者であります佐々木副委員長にお渡しします。
- ・ 佐々木副委員長には、9月末までにフルコスト計算書の診断結果案を作成していただき、それを10月に開催する予定にしております、フルコスト計算書診断部会及び公共サービス改革委員会に諮りたいと思います。
- ・ 以上の様なスケジュールで、今年度のフルコスト計算書診断を実施したいと思しますので、委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

4. 民間活用のあり方診断について

○橋元評価改善担当

- ・ それでは、民間活用のあり方診断についてご説明いたします。
- ・ 民間活用のあり方診断は、今年度が第2年度となっております。
- ・ 昨年度は、指定管理者制度を導入している公の施設の施設利用者満足度、事業内容、利用状況等を検証する、指定管理者サービスチェックを実施いたしました。
- ・ この指定管理者サービスチェックで得られた検証結果を踏まえ、64施設の指定管理者の再選定を実施しております。
- ・ また、平成22年度に指定管理者の再選定を予定している大野城まどかぴあについては、今年度中に再度指定管理者サービスチェックを実施したいと考えております。
- ・ 今年度は、「民間支援業務」を対象に実施する予定にしております。
- ・ 「民間支援業務」とは、公益上必要と認めた範囲で、企業やNPO、各種団体等への資金的支援等を行う業務としております。
- ・ チェックポイントとしましては、市が提供する公共サービスを補完する役割として、民間の活動を支援、促進する性格を持ちますその事業の有効性や費用対効果を検証

するとともに、交付内容の適切性（会計処理や補助割合の妥当性等）を点検し、その内容に不適切な点があれば改善を指示することとしております。

- ・ 公共性・公平性の観点から、市が実施すべき必要性・重要性が低い事業の場合、さらに事業の有効性が極めて低い事業の場合には、事業の縮小・廃止を検討したいと考えております。
- ・ なお診断結果は、今年度中に公表したいと思っております。

5. 業務・システム最適化診断について

○山崎評価改善担当

- ・ それでは、業務・システム最適化診断についてご説明いたします。
- ・ 平成21年度については、主に福祉分野について業務・システム最適化の取り組みを進めることにいたしております。
- ・ 福祉分野は、高齢者、障がい者、介護といった様にサービス内容が多岐に分かれているため、来庁してもどこに相談すれば良いのか分からないという市民の方からの声がよく聞かれます。
- ・ これを踏まえ、福祉分野につきましても、まどかフロアと同様に窓口の一元化を図り、一つの窓口で福祉分野に関する相談や手続きがすべて完了するよう、制度設計をまいります。
- ・ また将来的には、市内4箇所にありますコミュニティセンターに設置予定の地域行政センターでの相談及び申請受付も行いたいと考えております。
- ・ 地域行政センターで行うメリットとしましては、コミュニティセンターは週末も開館しておりますし、開館時間も夜9時までとなっていることから、市民の皆様にとって非常に利便性が向上すると思われれます。
- ・ 業務・システム最適化の視点からは、総合窓口を集約する業務のフローを作成し、重複する部分の整理統合を行いたいと考えております。
- ・ また民間活用が図れる部分については、民間委託を併せて検討していきたいと考えております。
- ・ なお、福祉相談窓口は平成22年度、地域行政センターは平成24年度の開設を目指してまいりたいと考えております。

6. 初期診断について

○白水企画調整担当

- ・ それでは、初期診断についてご説明いたします。
- ・ 初期診断については、実施計画事業と密接に関係しておりますので、実施計画のスケジュールと併せて説明させていただきます。
- ・ 実施計画のスケジュールとしましては、5月下旬に全課を対象とした実施計画調書作成説明会、6月に実施計画調書作成、7月末から8月上旬にかけて実施計画プレゼ

ン、10月に内示といった予定になっております。

- ・ これを踏まえ、今年度の初期診断（実施計画の二次評価）は、来年1月下旬に実施したいと考えております。
- ・ 次に実施計画の策定方針の中で、昨年度からの変更点を説明いたします。
- ・ 一点目は、本年4月に第五次総合計画がスタートしていることから、総合計画のリーディングプランにおける実施計画事業の位置づけを明確にしていまいりたいと考えております。
- ・ 二点目は、国会で審議中であり、経済対策の財源を有効に利用するため、補助条件に合致する事業については、前倒しで実施したいと考えております。
- ・ また昨年度の初期診断では、担当課長の所見欄が簡単に記載されているものが、散見されましたので、具体的な改善方を記載するよう指導したいと思います。

7. 大野城市第五次総合計画について

○毛利企画調整係長

- ・ それでは、大野城市第五次総合計画についてご説明いたします。
- ・ 公共サービス改革委員会の委員の皆様におかれましては、フルコスト計算書診断や初期診断等を通じて、PDCAサイクルのC（CHECK）の部分を担当いただいておりますことから、今回お時間をいただくことになりました。
- ・ 第五次総合計画につきましては、平成23年度から策定する予定でしたが、地方分権の進展等、近年の経済情勢の変化等を勘案いたしまして、当初計画を2年前倒ししてスタートいたしております。
- ・ なお大野城市第五次総合計画の策定にあたっては、①総花的な計画とはしない、②できるだけ簡潔で分かりやすい内容にする、③多くの市民の参加を得た計画づくりを行うという3つのテーマを基に、「市民と共有できる計画づくり」を行っています。
- ・ ご存知のとおり、大野城市は常にPDCAサイクルを意識して行政経営を進めておりますが、大野城市第五次総合計画は、市の計画的な行政運営のために作成するP（PLAN）の最上位計画となります。
- ・ 大野城市第五次総合計画は、基本構想（10年計画）、基本計画（5年計画）、実施計画（3年計画）の3段階で構成されています。
- ・ 基本構想は、平成21年度から30年度までの10年計画となっており、①都市将来像の実現と市民満足度向上の視点から、重点的かつ先導的に展開する戦略的政策として、三つのリーディング・プロジェクトを設定していること、②リーディング・プロジェクトの中に、テーマが達成されたときの“まちの姿”を具体的に示した上で、その達成度の数値目標として「めざそう値」を設定していることが特徴となっています。
- ・ 基本計画（前期）は、平成21年度から25年度までの5年計画となっており、①網羅的な計画ではなく、選択と集中を基本とした「リーディング・プラン」と、それを

補完する「分野別プラン」という二つのプランで構成していること、②プランの達成度合いを測る目安となる指標（数値目標）を設定していること、③人口推計・財政計画・土地利用など、従来基本構想で定めていたものを基本計画に移行していることが特徴となっています。

- ・ 実施計画は、基本構想及び基本計画を実現するための具体的な手段（事務事業）であり、3年を目安にローリングさせることとしています。
- ・ 以上の枠組みを効果的に運用することで、大野城市第五次総合計画に位置付けております、「ともに創る 個性かがやく やすらぎの新コミュニティ都市」という都市将来像の実現に取り組んでまいりたいと思います。

8. 事務連絡について

○橋元評価改善担当

- ・ それでは事務局により、事務連絡をさせていただきます。
- ・ 次回の公共サービス改革委員会は8月を予定しております。
- ・ 直近の開催は、松本委員が参加されているフルコスト計算書診断部会が7月となります。
- ・ なお次回の公共サービス改革委員会では、フルコスト計算書診断結果と民間活用のあるあり方診断の制度設計の検討結果について議題にしたいと考えております。よろしく願いいたします。

9. 閉 会

○藤田企画政策部長

- ・ 「ともに創る・個性かがやく・やすらぎの新コミュニティ都市」。これは本年度よりスタートいたしました大野城市第五次総合計画のテーマになっております。
- ・ 総合計画の内容を実現するためには、限られた行政資源の選択と集中が必要となります。
- ・ その選択と集中を推し進めて行くためには、市役所DOCKが有効に機能する必要があると思っておりますので、委員の皆様にはご苦勞をおかけしますが、どうかよろしくお願い致します。